

越谷市議会議員

ほそかわ

細川たけし

KOSHIGAYA City Council member
HOSOKAWA Takeshi
City Council report

市議会レポート

No.11
平成28年
新春号



〒343-0022

越谷市東大沢1丁目12-15

カンピジャーノ 201

TEL/FAX 048 (971) 3890

公式HP <http://hosokawa-takeshi.com>

Eメール info@hosokawa-takeshi.com

新しい
転居先です



(蒲生駅前にて)

◆◆ご挨拶◆◆

新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年12月に開催された定例議会では、議案の審査及び行政に対する一般質問等が行われ(市長より46件、議員より1件の議案が提出)全て可決されました。

さて、昨年未発表された2015年の漢字は「安」でした。

- ・“安”全保障関連法案の審議過程に国民の関心が高まった。
- ・世界で頻発するテロ事件や異常気象で、私たちの生活が不“安”になった。
- ・建築偽装などの企業不正が発覚し、暮らしの“安”全が揺らいだ等の理由で選ばれましたが、本来は「安らぎ」など良い意味で使われることの多い漢字です。漢字本来の意味を実感できる市政になるよう、これからも全力で取り組んでいきます。寒さも厳しくなってきました。ご健康にはくれぐれもお気を付けください。

▶▶▶12月定例議会・細川たけしの一般質問

会期 12月1日～17日

Q 越谷市公共施設等総合管理計画についての反応と今後の進め方について

A 市政モニターより「公共施設が充実しているが、重複していると思われる部分もある」「今は民間施設も充実しており、思い切った公共施設の再編も考えるべき」との意見が寄せられております。これら課題の解決に向け平成28年度に市長公室「公共施設マネジメント推進課」を設置、長期的展望のもと公共施設等総合管理計画に取り組みます。(公共施設等総合管理計画とは……現在の多くの公共施設が大規模修繕や建替え時期を迎え、これらの修繕費等が大きな財政負担となる。その負担軽減策として、保有建物削減や長期使用などの管理を計画的に行うこと)

Q ICT(情報通信技術)教育の現状と今後の計画について

A 市内全ての小中学校に、計1,845台の教育用パソコンを導入し、またパソコンと大型テレビのセットは1日の授業数の半分以上で活用されています。画像やシミュレーションの活用は児童生徒から「わかりやすい」との声を得ています。今後は児童生徒自らがタブレットを操作するなどの授業を通じ、主体的な課題解決力やコミュニケーション能力などを育てていきます。

Q 駅前の案内板とバス路線図の設置について

A 現在、歩行者系の案内サインは各駅前を中心に11箇所まで設置しておりますが、南越谷駅北口など6箇所の駅前には未整備な状況です。今後は緊急性、重要性を踏まえ整備を検討していきます。

バス路線にも利用者から「総合版の案内図が少ない、分かりにくい」との声があります。

これらの課題解決のため、本年度中に越谷市公共交通網形成計画を策定をする予定です。また、バス乗り場やタクシー乗り場など、市内の公共交通に関する情報を網羅した案内マップの作成に取り組んでいます。



越谷市議会では本会議のネット中継をおこなっております。
<http://www.koshigaya-city.stream.jfit.co.jp/>
「越谷市議会ホームページ会議中継」

12月定例議会・その他の審議可決された主な議案

- ・ノーベル物理学賞受賞の梶田隆章氏が名誉市民に推薦され、決定しました。
- ・小学校・中学校空調設備設置支援業務委託料が可決されました。この予算はエアコンを平成29年10月1日(予定)から供給開始するための関係費用です。この整備事業は民間活手法である^注 PFI手法を導入します。

※注) PFI…公共施工等の運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと。効率的かつ効果的な公共サービスの提供が期待できる。

細川たけし 10月～12月の主な活動

行政調査

10月に九州地方へ各事業の先進事例について調査してきました。

1・建設常任委員会(10月13日～15日)



福岡県宗像市にある「道の駅むなかた」は公設民営の施設であり、全国でも屈指の賑わいを誇る道の駅です。商業・農業・漁業の各事業者と行政が各役割を果たし、活気のある地域作りの取組みは大変参考になりました。その他、長崎市「まちぶらプロジェクト」熊本市「桜町・花畑地区周辺の再活発事業」を調査してきました。

2・民主党と無所属の会(10月20日～22日)



佐賀県武雄市の「図書館」と「ICT教育」について調査してきました。ICT教育については、小中学校全ての生徒がタブレットを持ち、自宅での予習にも活用している取組み

は新しい授業の形だと実感しました。その他、日田市「農業の6次産業化」について調査しました。

■様々な行事へ参加しました



リユース第2工場(草加市柿木町)施設見学



第4老人福祉センター ひのき荘 竣工式典

「中核市サミット(前橋市)」「市民体育祭」「地区対抗ブランド・ゴルフ」「市民まつり」「産業フェスタ」「リユース祭り」「大沢地区文化祭」などへも参加しました。

東埼玉資源環境組合 ～決算委員会にて質疑～

Q 新しく建設された第2工場の杭打ちの状況について

A 杭打ち時に職員が立ち会い、杭打ちデータ等を確認しています。

Q 歳入の原子力損害弁償金の内容について

A 福島原発事故の対策費用として、ゴミの放射線の測定費用や薬剤の費用等で使用されました。この費用は東京電力からの歳入です。



東埼玉資源環境組合(愛称・リユース)第2工場ごみ処理施設「PERSICLE(パーシクル)」

市民の声を越谷市に届けました



改善前

市民：「夜になると見えづらい緑石があり、自転車での事故が多発している。改善してほしい。」

対策：危険だった緑石部分を削り、安全策として数本ポールを立てました。



改善後

このように市民のみなさまの声で越谷市はより良く住みやすい街となります。これからも細川たけしへご意見をお寄せください。



細川 威(ほそかわ たけし) 38歳

役職：建設常任委員会 副委員長
議会運営委員会委員
東埼玉資源環境組合議員

昭和52年7月生まれ

弥栄小学校、北陽中学校、獨協埼玉高校、東海大学工学部、北陸先端技術大学院大学 卒業
細川律夫事務所を勤務を経て、平成19年越谷市議会議員初当選。平成23年県議会議員選挙惜敗。運送会社に勤務しながら政治活動を行う。平成27年越谷市議会議員選挙2度目の当選。住まいを東大沢に移す。

細川たけし市議会レポート No.11
平成28年新春号
発行 平成28年1月
発行人 細川たけし
制作発行 細川たけし事務所